

厚生労働省 令和6年度 こころの健康づくり対策事業

ひきこもり対策研修 実施要項

1. 目的

各地域で「ひきこもりの評価・支援に関するガイドライン」に基づいたひきこもり支援に携わる人材の確保とその育成を目的として実施します。

2. 参加要件

- ・申込時に職場の上司の推薦を得られること。
受講申込時に【同意書・推薦書】に署名捺印し提出が必要。
(ご自身が職場長の場合、推薦書の欄への記入は不要)
- ・研修受講者名簿(氏名、所属先、所属連絡先)の作成・配布に同意できること。
名簿は厚生労働省へ報告し、各地でご活躍いただけるように各都道府県、政令指定都市、中核都市、保健所設置都市、特別区の関係機関に送付します。

3. 対象者

精神保健福祉センター、保健所、ひきこもり地域支援センター、医療機関、教育機関等の地域専門機関でひきこもり(不登校)支援に従事している、もしくは従事する可能性のある医師、看護師、保健師、精神保健福祉士および児童福祉司等の福祉職、児童心理司および相談・医療機関等勤務の心理職、教師等の専門職。

実践編は事例検討会がありますので、守秘義務の遵守ができる方に限ります。

4. 日時・場所・定員

【基本編】令和6年7月31日(水)～8月28日(水) millviを利用したオンデマンド研修

定員：300名

【実践編①】【基本編】を受講(必修)ののち 日時：令和6年11月6日(水)

【実践編②】【基本編】を受講(必修)ののち 日時：令和6年11月8日(金)

場所：国立国際医療研究センター肝炎・免疫研究センター研修室 千葉県市川市国府台1-7-1

定員：各回50名

5. 受講料 無料

6. 研修内容 プログラム参照 【基本編】 【実践編】

7. 申込締め切り 令和6年8月19日(月) 基本先着順です。 定員になりましたらこれ以前に締め切る場合もあります。

8. 申し込み方法 右記 QR コードもしくは下記フォームから参加登録をお願いします。URL: <https://forms.office.com/r/9fC3UTQ1z8>



参加登録だけでは受講できません。受講の可否、参加詳細はメールでご連絡いたします。
事務局からのメール kcap36kenshu@hospk.ncgm.go.jp の受信設定をしてお待ちください。

9. その他

- ・オンデマンド形式(millviを利用)は受信機器のご用意をお願いします。
- ・所属施設でこれらの接続が難しい場合は自宅勤務等での受講を推奨いたします。
- ・すべて欠席なく受講された方には修了証書を授与します。受講確認が取れない場合は修了証書の授与ができませんのでご注意ください。
- ・実践編に参加される方の昼食・宿泊については、用意・案内はございません。各自でご準備をお願い致します。また会場へは公共交通機関をご利用下さい。

児童・思春期精神保健研修『ひきこもり対策研修』（基本編）

オンデマンド研修（令和6年7月31日～8月28日）				
ひき-1	30分	担当官	厚生労働省 地域福祉課	ひきこもり問題に関する 支援施策
ひき-2	60分	近藤 直司	大正大学	ひきこもりケースの アセスメント
ひき-3	60分	齊藤 万比古	母子愛育会愛育相談所	思春期ケースへの 精神療法
ひき-4	60分	小原 圭司	松ヶ丘病院	家族支援
ひき-5	60分	宇佐美 政英	国立国際医療研究センター 国府台病院	発達障害とひきこもり ～ゲーム障害も含む～
ひき-6	60分	水本 有紀	国立国際医療研究センター 国府台病院	医療における不登校支援の実際 ～思春期を中心に～
ひき-7	60分	山崎 正雄	高知県立 精神保健福祉センター	ひきこもり支援～地域支援機関 と医療機関の役割～
ひき-8	60分	広沢 昇	埼玉県立 精神保健福祉センター	危機介入
ひき-9	60分	辻本 哲士	滋賀県立 精神保健福祉センター	ひきこもりとして地域で 支える精神疾患

児童・思春期精神保健研修『ひきこもり対策研修』(実践編)

オンデマンド講義 (令和6年7月31日～8月28日)				
ひき-1	30分	担当官	厚生労働省 地域福祉課	ひきこもり問題に関する支援施策
ひき-2	60分	近藤 直司	大正大学	ひきこもりケースのアセスメント
ひき-3	60分	齊藤 万比古	母子愛育会愛育研究所	思春期ケースへの精神療法
ひき-4	60分	小原 圭司	松ヶ丘病院	家族支援
ひき-5	60分	宇佐美 政英	国立国際医療研究センター 国府台病院	発達障害とひきこもり ～ゲーム障害も含む～
ひき-6	60分	水本 有紀	国立国際医療研究センター 国府台病院	医療における不登校支援の実際～ 思春期を中心に～
ひき-7	60分	山崎 正雄	高知県立 精神保健福祉センター	ひきこもり支援～地域支援機関と 医療機関の役割～
ひき-8	60分	広沢 昇	埼玉県立 精神保健福祉センター	危機介入
ひき-9	60分	辻本 哲士	滋賀県立 精神保健福祉センター	ひきこもりとして地域で 支える精神疾患
事例検討会① 令和6年11月6日 (水) (9:50～15:30)				
国立国際医療研究センター 肝炎・免疫研究センター研修室				
	9:50～ 10:00	主催者挨拶		
1時限	10:00～ 12:30	齊藤 万比古	母子愛育会愛育研究所	ケース検討(思春期)
	12:30～ 13:20	昼休み		
2時限	13:20～ 15:20	齊藤 万比古 広沢 昇 司会:水本 有紀	母子愛育会愛育研究所 埼玉県立精神保健福祉センター 国立国際医療研究センター 国府台病院	グループワーク 「不登校ひきこもり支援で 困ること・悩むこと」
	15:20～ 15:30	修了式		

児童・思春期精神保健研修『ひきこもり対策研修』(実践編)

オンデマンド講義 (令和6年7月31日～8月28日)				
ひき-1	30分	担当官	厚生労働省 地域福祉課	ひきこもり問題に関する 支援施策
ひき-2	60分	近藤 直司	大正大学	ひきこもりケースの アセスメント
ひき-3	60分	齊藤 万比古	母子愛育会愛育研究所	思春期ケースへの 精神療法
ひき-4	60分	小原 圭司	松ヶ丘病院	家族支援
ひき-5	60分	宇佐美 政英	国立国際医療研究センター 国府台病院	発達障害とひきこもり ～ゲーム障害も含む～
ひき-6	60分	水本 有紀	国立国際医療研究センター 国府台病院	医療における不登校支援の実際～ 思春期を中心に～
ひき-7	60分	山崎 正雄	高知県立 精神保健福祉センター	ひきこもり支援～地域支援機関と 医療機関の役割～
ひき-8	60分	広沢 昇	埼玉県立 精神保健福祉センター	危機介入
ひき-9	60分	辻本 哲士	滋賀県立 精神保健福祉センター	ひきこもりとして地域で 支える精神疾患
事例検討会② 令和6年11月8日 (金) (9:50～15:30)				
国立国際医療研究センター 肝炎・免疫研究センター研修室				
	9:50～ 10:00	主催者挨拶		
1時限	10:00～ 12:30	近藤 直司	大正大学	ケース検討(成人期)
	12:30～ 13:20	昼休み		
2時限	13:20～ 15:20	近藤 直司 辻本 哲士 司会:水本 有紀	大正大学 滋賀県立精神保健福祉センター 国立国際医療研究センター 国府台病院	グループワーク 「不登校ひきこもり支援で 困ること・悩むこと」
	15:20～ 15:30	修了式		

ひきこもり対策研修
研修名簿作成・配布同意書及び受講推薦書

令和 年 月 日

受講するにあたり名簿作成・配布に同意します。□

受講者氏名 _____ 印

受 講 推 薦 書

上記の者を貴院の厚生労働省 令和6年度こころの健康づくり対策事業「ひきこもり対策研修」受講生として推薦いたします。また研修会で症例を発表する際には、当施設での個人情報保護の規定に沿って行うことを約束します。

令和 年 月 日

施設名 _____

所在地 _____

代表者(所属長)氏名 _____ 印

国立研究開発法人
国立国際医療研究センター国府台病院長 殿